

年 組 () 名前

サイン

【1】写真の動物の
名前をカタカナ6
字で書きましょう。

【2】この動物が
いる都道府県の名前
を漢字3字で書き
ましょう。

◆北海道の森林に、エゾモモンガが姿を見せています。



目をくりっとさせ、ほおばる姿が愛らしいエゾモモンガ(2月16日、十勝地方の森林で) 佐々木紀明撮影

モグモグタイム

十勝地方でエゾモモンガ

十勝地方の森林で、エゾモモンガが姿を見せている。
エゾモモンガは体長約15センチで、北海道に生息する固有種。クリツとしたかわいらしい目が特徴のリスの仲間だ。野鳥が使い古した巣穴などをねぐらにして、日没から夜明け前に木から木へと飛び移る。春先と初夏には日中に繁殖行動を行うという。
巣穴から出たエゾモモンガが激しく追いかけてこをした後、ハンノキの樹上にとどまり、花穂などを口に運んでモグモグとし、愛くるしい表情を見せていた。食事を済ませると、飛膜と呼ばれる翼を広げ、滑空して巣に戻って行った。

(2022年3月17日 読売新聞北海道版より)

※先生やおうちの人と
いっしょに読みましょう。

【発展問題】写真の動物は、昼よりも夜に活発に活動する動物です。夜に活動する動物を調べ、裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン



満開の桜に囲まれて行われた「人間将棋」

◆山形県で開かれた春の伝統行事。絢爛豪華な装いが来場者の目を楽しませました。(2022年4月18日 読売新聞朝刊より)

藤井竜王 人間将棋に「出陣」

将棋駒の産地として知られる山形県天童市で、春の伝統行事「人間将棋」が3年ぶりに開催され、史上初の10代五冠を達成した藤井聡太竜王(19)が17日、対局者として初参戦し、佐々木大地六段(26)に勝利した。

人間将棋は、甲冑姿の人が将棋駒役となり、縦約17羽、横約14羽の巨大な盤上を動き回る。対局者は全ての駒を一度は動かし、「ござる」などをつけ

た武者言葉で掛け合いをするのが慣例となっている。

武者姿で登場した藤井竜王が「天童にお招きいただき、大変うれしゅうござる。全軍を躍動させ、勝利を目指したい」と意気込むと、会場は大いに沸いた。

新型コロナウイルス対策のため、会場観覧は660人に限定され、事前抽選には約18倍の1万1714人から応募があった。

読売新聞オンラインに動画



武者姿で臨んだ藤井聡太竜王

山形・天童

【1】「人間将棋」とは、どのようなものですか。

Blank box for answer to question 1.

【2】甲冑には色んな種類があります。調べましょう。

Blank box for answer to question 2.

【3】天童市は、どのようなところでしょうか。調べて裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン



ごみ・たろう 1945年、東京生まれ。桑沢デザイン研究所を卒業。73年に絵本作家としてデビュー。ポーロニャ国際絵本原画展賞などを受賞。

なんで世間ではこんなに「幸せ」について悩むのか不思議でね、俺が取材したいくらい。「幸せになる」という言い方もひっかかる。幸せって、抽象的なんだよね。「もっと具体的に言えよ」という感じがある。「お金がほしい」「話し相手がほしい」とか。みんな目標を掲げて達成するというのが好きだね。でも、「幸せになろう」と目標設定するのは、違うんじゃないかな。最初はみ

(2022年5月5日 読売新聞朝刊より)

五味太郎さんの幸福論

「楽」に向かって逃げる

「楽」には到達しないよね。振り返ると、20代は、自分が楽なかたちを模索していた。もがいていた。それが人生楽しいよね、って言うことだと思っ

幅広い世代から人気のある五味さんの絵本



「楽」に生きないと本気になれないという実感があるのね。「楽」と「楽しい」とは同じ字を使う。楽なこととは楽しいこと。楽しいことは楽なことなんだ。苦しんでも歯を食いしばって、涙流して、がんばらって言われても、苦しいと「楽」には到達しないよね。それを「楽」にしようと思っただけで、めげなかつた。自分の「楽」に向かって逃げたらいい。

◆「幸せにはまったく無関心です」。絵本作家の五味太郎さんに連載「幸せをつくる。」の取材を申し込んだ時の返事です。真意を聞きました。

とを教わるのは、学校だよ。ね。初等教育でのボタンの掛け違いがずっと気になっているんだ。学校では、夏休みや学期ごとなどに目標を立てるけど、他人と比較し競うようになつていくと、よくない。自分の居場所探して

【1】「楽」に向かって逃げる、という生き方に賛成ですか、反対ですか。理由も書きましょう。

Blank box for writing answers to question 1.

【2】「幸せ」についてどう考えますか。あなたの「幸福論」を裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

祭事や方言 消滅の危機



宮古上布(宮古島)



赤瓦の集落(竹富島)



エイサー

「エイサー」
盆の時期に集団で
踊りを披露する民
俗芸能



多様な要素が混ざり合う「チャンプルー文化」とも言われる沖縄の文化。1972年5月15日の本土復帰後は、「伝統を踏まえつつ本土や米国の影響も受けた独自の新しい芸能が開花した。その一方で、琉球王国時代にさかのぼる固有の信仰や民俗行事は姿を消しつつある。

沖縄には集落単位で「御嶽」と呼ばれる森や自然石の聖域があり、ノロやツカサといった女性(神女)が豊作祈願などの祭事を催してきた。しかし赤嶺政信・琉球大名誉教授(民俗学)は、「この50年間で、神人組織が各地で継承されずに消え、多くの年中行事も失われた」と指摘する。

久高島(南城市)で12年に1度催されてきた神女の就任儀礼「イザイホー」は、1978年を最後に行われ
ていない。琉球王国時代の祭祀の名残をとどめる貴重な行事だが、島で生まれ育ち、島の男性に嫁いだ30〜41歳という条件を満たす後継者がいないためだ。西表島の節祭(竹富町)、塩屋湾のウンガミ(大宜味村)など過疎地の祭事も、高齢化が課題となっている。戦前からの共通語教育と、復帰後のウチナーヤマトグチの盛行によって、本来の沖縄方言はほとんど話されなくなった。ユネスコは2009年、県内5地域の言葉を「消滅の危機にある言語・方言」に認定した。

危機感を持った県は、17年にしまくとぅば普及センターを設置して人材育成や出前講座などを始めた。同センターは「言語の復活は3代かかるとも言われる。継続して普及に取り組みることが重要だ」と語る。



◆独自の文化と歴史を持つ沖縄。第二次世界大戦後は米国の支配下に置かれ、日本に復帰して50年を迎えました。(2022年4月30日 読売新聞朝刊より)

【1】沖縄の歴史を伝える文化や建物について、記事で挙げた以外で、あなたが知っているものを書きましょう。

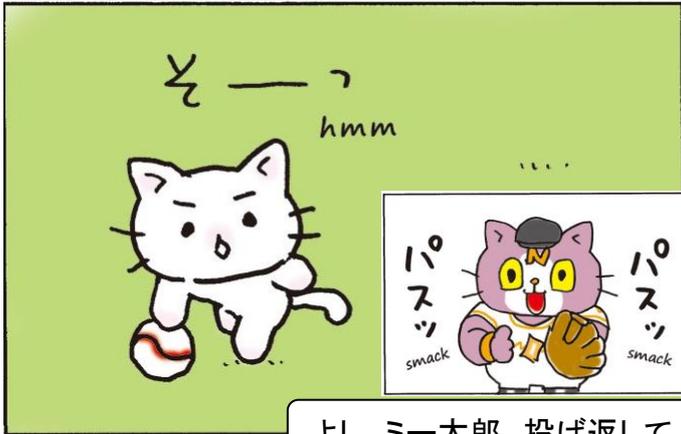
【2】沖縄の文化や風土を守っていくことは、どのような意義があると思いますか。あなたの考えを書きましょう。

【発展問題】あなたが住む自治体には、どのような伝統文化や工芸品、特産品がありますか。あなたが守っていききたいと思うものをひとつ挙げ、その成り立ちや課題を調べて、裏にまとめましょう。



年 組 () 名前

サイン



よし、ミー太郎、投げ返して！



ありがとうございます、ついに良い写真を撮ることができます



こら、ミー太郎、戻ってこい！

うわああ、ニヤッピー！



仲良くなるには、しばらく時間がかかりそうです



◆^{たろう}ミー太郎と、^{ニヤッピー}ニヤアイアンツのマスコットキャラクター「ニヤッピー」。^{キャッチボールの写し}写真の^と真を撮ろうと^{こころ}試みましたが...

ゲット ア ロ ン グ get along

^{なか よ}仲良くやっっていく

^{アロング}「along」は^{じぶん}「自分といっしょに」という意味です。
^{ゲット アロング ウィズ}「get along with～」で^{なか}「～と仲がよい」「～と^き気が^あ合う」という表現になります。

★あわせて覚えよう★

^{ヒット イット オフ}・hit it off

^{なか よ}仲良くなる。^{き あ}気が合う

^{ゲット フレンドリー}・get friendly ^{した}親しくなる

単語帳

look like～:～のように見える、～になりそうだ、

a while:しばらく

★なぞってみよう★

get along

hit it off

あなたの食にまつわる 「おいしい記憶」を ご応募ください。



1200字のエッセー(一般)、800字の作文(小学生)

読売新聞社と中央公論新社は、キッコーマンの協賛を得て、
第14回「あなたの『おいしい記憶』をおしえてください。」コンテストを開催しています。
笑顔や優しさ、活力などを与えてくれるあなたの「おいしい記憶」を、
作文、エッセーにして私たちにおしえてください。

第14回「あなたの『おいしい記憶』をおしえてください。」コンテスト

一般の部(エッセー) 募集要項

小学生の部(作文)の募集もございます。
詳しくはウェブサイト、または電話にてお問い合わせください。

テーマ 食にまつわる、笑顔や優しさ、活力などを与えてくれる思い出やエピソード (1200字程度)

賞 キッコーマン賞(1点)…… 30万円 読売新聞社賞(1点)…… 30万円 優秀賞(10点)…… 2万円

応募要項 表紙に①応募する部(①A一般、②B小学校低学年、③C小学校高学年)、②題、③氏名(ふりがな)、④年齢、⑤性別、⑥郵便番号、⑦住所、⑧電話番号、⑨何を見て応募したか(具体的に)、⑩学校名・学年(小学生部門に応募の場合)を明記し、封書で郵送してください。

応募先 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-8-11 錦町ビルディング7階
「おいしい記憶」コンテスト事務局

締め切り 2023年6月14日(水) 必着

発表 2023年8月下旬の読売新聞朝刊と、9月発売の『婦人公論』などに掲載予定

審査員 ■山本一力(作家) ■姜 明子(株式会社オレンジページ 常務取締役)
※敬称略 ■牧野直子(管理栄養士・料理研究家・有限会社スタジオ食代表) ■山崎孝一(キッコーマン株式会社 代表取締役専務執行役員)
■坂本裕寿(読売新聞東京本社 取締役広告局長) ■三木哲男(中央公論新社 取締役書籍編集局長)
<小学生の部のみ> ■石川 剛(読売新聞東京本社 編集局 読売KODOMO新聞編集長)

お問い合わせ 「おいしい記憶」コンテスト事務局 03-5244-5363 (受付時間は、土・日・祝日を除く10時から18時まで)
※審査結果についてのお問い合わせは一切受け付けていません。予めご了承ください。

主催/読売新聞社、中央公論新社 後援(予定)/文部科学省ほか 協賛/キッコーマン株式会社 協力/読売KODOMO新聞
(注意点・個人情報など)※応募作品は自作・未発表の個人作品に限り、連名での応募は認めません。※入賞作品についての一切の権利は主催者に帰属し、主催者が自由に使用できることとします。※応募作品について著作権侵害等の争いが生じても、主催者は責任を負いません。入賞作品は読売新聞、婦人公論で紹介するほか、主催者、協賛社がインターネット上で使用したり、その他媒体で使用される場合があります。※応募に関する個人情報は、応募作品に関する連絡以外には使用いたしません。※応募作品は返却しません。※盗作、二重投稿は固くお断りいたします。

本情報は、ウェブサイトでもご覧になれます。ウェブサイトでは、過去の受賞作品も掲載中!
<https://www.yomiuri.co.jp/adv/oishiikioku/>